

旧浜市小学校の利活用について

1. 経緯

- 旧浜市小学校については、住民からの要望を受け、災害時の避難先としての機能に加え、地域活性化に資する施設としての活用を検討。
- 被災学校施設利活用企業選定委員会（委員長：副市長）において、プレゼンテーションを実施の上、(株) V・プランニングを優先交渉権者として決定。以後、協議を複数回実施。

2. 事業内容、対応方針

- 植物工場の運営等を実施（注1）。
- 初期工事の段階で、校舎（体育館含む）の外壁・内装の全面改修を実施し、植物工場等の稼働が実現。

		初期工事	追加工事（3年目・5年目）
実施事業		<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物栽培 ・ レストランの運営 ・ 国際研修の受入 ・ 屋上災害避難エリアの設置 	（左記に加え、下記を実施） <ul style="list-style-type: none"> ・ 植物栽培の拡充（栽培設備の増設） ・ レストランの拡充（オープンテラスの設置） ・ 植物園の運営（ビニールハウスの設置）
設備投資額		3.5億円（注2）	2.5億円
改修箇所	校舎1階	洗浄室、トリミング室、冷蔵庫、倉庫、育苗室、研修室、レストラン等	育苗室（栽培設備の増設）、オープンテラスの設置、植物園用ビニールハウス・校庭の整備
	校舎2階	事務所兼管理室、研究開発室等	研究開発室（栽培設備の増設）
	校舎3階	思い出の部屋、イチゴ栽培実験室	イチゴ栽培実験室（栽培設備の増設）
	体育館	植物工場（栽培棚（約1,900株）設置）	栽培設備の増設（約1,900株）
地元雇用	6名（注3）	16名（10名増員）	

（注1）イチゴやレタス、ミニトマト等を栽培し、栽培した作物が味わえるレストランの他、国際研修の受入等を実施。

（注2）金融機関からの融資、協力企業からの出資等により確保済。

（注3）平成28年度末には3名増員（計9名）。